

# 注意事項

## 1. 会場使用上の注意

- 1) 飲食は、メインアリーナ・サブアリーナ内では行わないこと。  
\* 飲食可能エリア：1F・2Fロビー部分、2F観覧席とする。
- 2) 施設は土足厳禁なので、体育館シューズに履き替えること。
- 3) 会場内はフラッシュを使用した撮影は禁止する。
- 4) 会場内で発生したゴミは、各自責任を持って持ち帰り処分すること。

## 2. アリーナ使用時間

- 1) 30日（金）の公式練習は、17：00～20：00とする。  
\* クラスごとに選手受付及び器具チェックが公式練習の時間内に行われる。
- 2) 1日（土）、2日（日）の開場時間は8：30とする。
- 3) 開場後のウォーミングアップは、8：30より使用可能とする。
- 4) 1日（土）は開会式準備があるため、開場後のウォーミングアップは練習コートのみとする
- 5) 2日（日）の開場後のウォーミングアップは、第一試合の選手のみ競技コートの使用を許可する。  
ただし、コール受付の時間の管理については、選手各自で行うこと。
- 6) 30日（金）の公式練習後および1日（土）、2日（日）の競技終了後は、手際よく後片付けをすませ、速やかに退場すること。

## 3. 弁当について

- 1) 申し込み後の弁当のキャンセルは不可とする。
- 2) 事前に申し込まれた弁当は、11時より総合受付で配布する。
- 3) 代金の支払いについては、小銭を用意してつり銭がいらぬようにすること。
- 4) 弁当ガラの回収は、当日16時までに総合受付に戻すか、各自で処分すること。

## 4. 荷物の送付について

- 1) 自宅までの送付を希望する場合の荷物置き場は、選手控え室とする。
- 2) 宅配便の伝票は総合受付にあるので、必要な場合は申し出ること。
- 3) 宅配便の基準（縦・横・高さの合計が160cm、重さが25Kg）を超えるものの送付の場合や、送付荷物に保険加入を希望する場合は、必要費用を持参の上、総合受付に申し出ること。  
\* 保険料は補償金額1万円につき10円。

## 5. 駐車場について

- 1) 駐車場については、安全に注意して譲り合って使用すること。

## 6. 大会参加者の注意事項

- 1) 主催者において傷害保険には加入しているが、各自事故、ケガの無いように努めること。
- 2) フィジオルーム（コンディショニングルーム）は、会場図参照のこと。
- 3) 貴重品は各自で保管すること。
- 4) 練習コートの使用については、次に試合のある選手の利用を優先すること。
- 5) 競技に必要な器具・用具は、試合以外はサブアリーナで保管すること。

# 大会申し合わせ事項

## 1. 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v.2」並びに大会申し合わせ事項によって実施する。競技規則に記載のない問題が発生した際には、規則 26 ページの記述に基づき HR および TD の判断により問題を解決する。

## 2. 用具検査について

器具検査は11月30日（金）に全選手に対して行う。競技用具、ボール等の取り扱いは、「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v.2」の規定に準ずる。なお、大会球の使用については、招集にて審判が確認を行うので、そのときに申告すること。

## 3. 招集について

コールルームは競技開始30分前に開場し、15分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。コールルームには、選手本人およびアクレカード（名札）を受け取ったスポーツアシスタント以外は入ることができない。ただしコーチ1名の招集所の入室を許可する。入室を希望するコーチは、必ず選手受付時に同行し、入室証をもらうこと。

2

## 4. ナンバーカードおよびアクレ（名札）について

ナンバーカードは選手の受付時に2枚（BC1、BC3クラス、およびBC4フットプレーヤーはスポーツアシスタント分含め3枚）渡される。ナンバーカードは、選手は胸か脚（前面）に1枚に取り付け、全てのスポーツアシスタントは背中にナンバーカードを取り付ける（1枚は予備）。コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。ナンバーカードおよびアクレカードがない選手はコールルーム受付ができない。

## 5. 競技進行について

競技時間は公表した競技進行によって原則運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。

## 6. 競技方法

- 1) すべて男女混成の個人戦で、「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v.2」が提示する障害区分 BC1、BC2、BC3、BC4、OP 座位、OP 立位の6クラスにて実施する。
- 2) 各クラスとも予選リーグ戦を行い、上位者による決勝トーナメントを実施する。  
予選リーグの順位は、BISFed 競技マニュアルに則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。
- 3) スポーツアシスタントはBC1、BC3クラスおよびBC4フットプレーヤーにのみ認めるものとする。それ以外の競技者については、コールルームおよび競技中にスポーツアシスタントを使用することはできない。
- 4) スポーツアシスタントの手配は事前に行い、アクレカードの申請のないスポーツアシスタントを使用することは認められない。尚、やむをえない事情でスポーツアシスタントを登録者以外のものを使用する場合は、総合受付を通じて大会技術委員長に申請すること。
- 5) 残り時間のコール及びエンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

## 7. 表彰について

- 1) 各クラス上位3名までにメダルを授与する。
- 2) BC3クラスのスポーツアシスタントについてもメダルを授与する。

## 8. クラス分けについて

- 1) 競技中、クラス分け委員による競技観察を行う。
- 2) クラス判定を受けてからの期間に関わらず、現時点での当該クラスが妥当と判断されない場合、再度判定を行うことがある。
- 3) 競技観察や再判定の結果から、対象選手のクラス変更を行う可能性がある。
- 4) クラス判定は BISFed Boccia Classification Rules -3rd Edition Jan 2017- に準じて判定する。
- 5) 競技中に使用するグローブやベルトなどの競技用補助具について、クラス判定を受けたときのものから変更している選手は、器具検査の際に必ず申し出ること

## 9. 次年度日本ボッチャ選手権大会のシード権獲得について

- 1) 各クラスの成績上位者は、次回日本ボッチャ選手権大会の予選会参加が免除となる。
- 2) 予選会参加の免除となる成績上位者は、以下の通りとなる。
  - ①BC1 : 4名
  - ②BC2 : 8名
  - ③BC3 : 8名
  - ④BC4 : 4名
  - ⑤OP 座位 : 4名
  - ⑥OP 立位 : 4名
- 3) 成績上位者の次回日本選手権大会の出場が困難・辞退した場合、以下の措置にて対応する。
  - ・ 当年度の予選会実施前に事態が発生した場合、前回日本選手権の該当クラスの次点選手を補充選手とする。
  - ・ 当年度予選会実施後に事態が発生した場合、当年東西予選会出場選手の該当クラスの各次点選手によりシーディングマッチを実施し、勝者を補充選手とする。
  - ・ 当年度日本選手権出場申し込み時に事態が発生した場合、大会の欠場として取り扱う。

## 10. ドーピング検査

- 1) 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は、競技会に参加申込みをした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
- 2) また、未成年者である本競技会参加者の申込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
- 3) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わなかった場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 4) 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。